

ふるさと活性化支援チーム会議（第2回）

次 第

日時 令和元年12月17日（火）14時00分～

場所 合同庁舎4号館「1214 特別会議室」（12階）

1 開会

2 秋葉内閣総理大臣補佐官挨拶

3 議題

（1）ふるさと支援フォーラムについて

（2）ふるさとづくり事例集等について

4 閉会

【説明資料】

資料1 ふるさと支援フォーラム開催報告

資料2 「ふるさとづくり事例集」の編集について（案）

資料3 ふるさとづくり相談体制の充実強化について（案）

ふるさと支援フォーラムの御報告

1. 開催日時: 6月 19 日(水) 13:30～16:45
2. 場 所: 全国都市会館
3. 参加者: 民間企業、地域おこし協力隊、学生、自治体職員等
4. 内 容: (1部)ふるさとづくり実践者(6名)の発表
(2部)交流会
5. 放 送: ニコニコ動画、自治体衛星通信機構で生放送
6. 協賛品: 全国花き振興協議会 花のテーブルアレンジメント
JA全中 被災地を中心にお菓子と飲み物
宮崎経済連 宮崎のお菓子と飲み物

7. 概 要

- 参加者は、満員の第1部 185 名、第2部 120 名。
ニコニコ生放送の視聴者は、累計 2796 名。
- 6名の発表者からは、挫折や失敗を経験しながらも、挫けることなく頑張り続けた各々の体験談を発表。
- 参加者からは、「自分にもできるかもしれない」、「自分もやってみよう」などの声。
- 総理からのビデオメッセージも大変好評。
- 終了後のニコ動ユーザーへのアンケート結果でも、「とても良かった」が 72%。
- 「次回の開催はいつか」「次回も案内して欲しい」など、次回開催を期待する声が多く聞かれた。
- 交流会も含めて会場の雰囲気も良く、成功裡に終了。

(ご参考)

ニコニコ動画によるアンケート

質問: 本日の番組はいかがでしたか?

とてもよかった	72.2%	あまり良くなかった	11.1%
まあまあよかった	16.7%	よくなかった	0%
ふつうだった	0%		

8. 写真



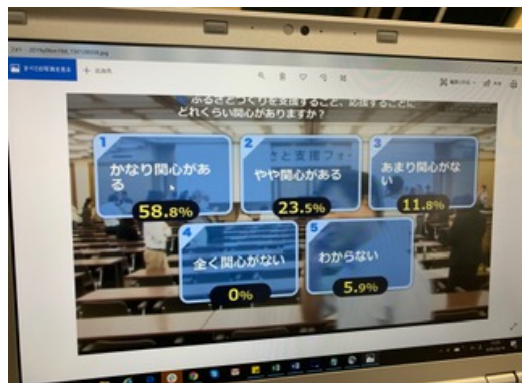
会場の様子



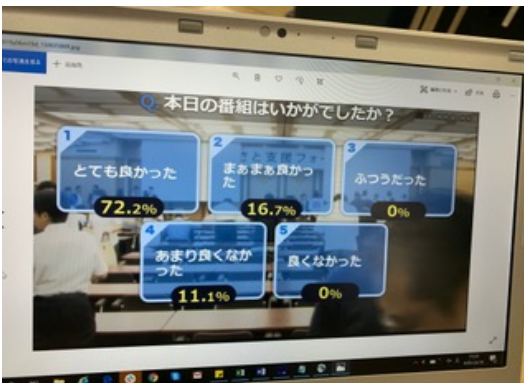
総理のビデオメッセージ



趣旨説明



ニコ動アンケート①



ニコ動アンケート②



交流会の様子



参加者の方々と

「ふるさとづくり事例集」の編集について（案）

令和元年 12 月 17 日

1 編集方針

「ふるさとづくりの推進」に係る 100 の事例を収集し、事例集として取りまとめる。（「3 ふるさとづくりの要素」に基づき分類。）

2 事例候補

- ・ 「ふるさとづくりの推進」に係る関係省庁（内閣官房、総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省）において事例候補を選定。（総務省を除き、それぞれ 10 事例程度）
- ・ 総務省については、「ふるさとづくり大賞」の過去の受賞団体・個人について、現在の取組状況等をフォローアップのうえ、事例候補として選定。（50 事例程度）
- ・ ふるさと活性化支援チームの実践者委員の取組。
- ・ 選定に際しては、「4 事例候補の選定基準」を適用するとともに、都道府県のバランスについても考慮することとする。（事例候補が 100 事例を超過した場合も同様とする。）

3 ふるさとづくりの要素

（1）環境的かかわり

- ・ 自然景観の保存
- ・ 生態智のある暮らしの再生
- ・ 地場の力の再生
- ・ 農林水産業における環境保全

（2）人と人との関係的かかわり

- ・ 時代にふさわしいコミュニティーの形成
- ・ 世代間の交流
- ・ 地域間の交流

（3）経済的かかわり

- ・ 誇りある生活の場の再生
- ・ 自律的な地域産業構造の構築
- ・ 農林水産業の活性化

（4）教育的かかわり

- ・ 地域に関する学習を通じた地域社会に対する誇りと愛情の育成
- ・ 学校と地域社会の連携

（5）文化的かかわり

- ・ 伝統文化の保存
- ・ 祭りの復活
- ・ 世代間の文化伝承

4 事例候補の選定基準

(1) 先進性・独自性

他の模範となる先進的な取組、ユニークさ、創意工夫、地域独自の歴史的・地理的・社会的特性を活かした取組 等

(2) 継続性

活動の継続、効果や実績の定着 等

(3) 発展性

規模の拡大や内容の多様化、他地域への波及 等

(4) 自主性

自主的・主体的な取組 等

(5) 協働性・連携性

住民と行政の協働、住民との連携、国や県との連携 等

(6) 取組の効果

住民の満足度、地域経済の活性化、雇用の創出、新たな地域文化の創造、地域の知名度やイメージの向上 等

※ 選定基準のすべての条件を満たす必要はない。

※ 関係省庁の判断により、選定に際し異なる基準を適用する場合がある。

5 編集スケジュール

12月 第2回「ふるさと活性化支援チーム」会合
(事例集作成について周知・事例提供依頼)

(6月 第2回ふるさと支援フォーラム
(事例候補の団体・個人から活動報告))

7月 ・第3回「ふるさと活性化支援チーム」会合
(事例集の取りまとめ)

） ・事例集完成
・総理への報告・手交

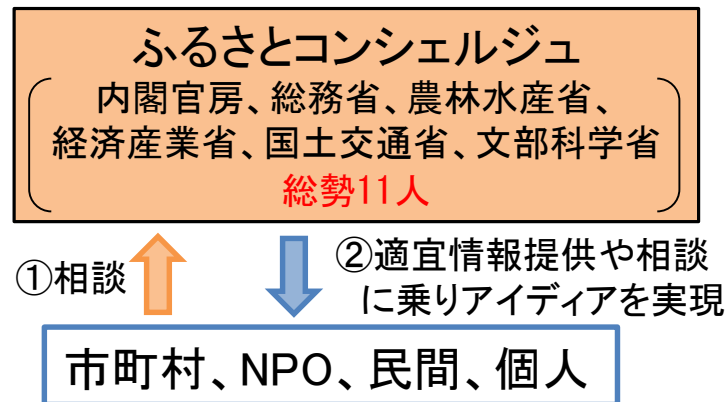
9月 ・補佐官ホームページへの掲載・地方公共団体への発送

※この他、編集の参考とするため、実践者から直接声を聞く現地視察・意見交換を随時実施。「ふるさと活性化支援チーム」の委員におかれては、ご都合のつく現地視察・意見交換に同行頂きたい。

<「ふるさとコンシェルジュ」の設置>

ふるさとづくりに関する相談窓口を一本化するため、内閣の総合調整を行う内閣官房に「ふるさとコンシェルジュ」を設置（平成31年3月28日構築）

【現行スキーム】



<課題と対応>

- ・内閣官房は、基本的に内閣の総合調整が担務
ふるさとづくり団体からすればなじみが薄い
- ふるさとづくり団体が身近に相談できる市町村、都道府県が窓口となれるよう、情報提供により支援。
- 市町村等からの相談については、地方創生の一環としてふるさとづくりに取り組んでおり、既に実績のある「地方創生コンシェルジュ」にも窓口を依頼。課題の検討のため、相談内容の共有を受ける。

※「地方創生コンシェルジュ」

各都道府県ごとに、出身者や赴任者等地域に愛着のある国の職員を選任（平成27年2月27日構築；令和元年7月現在17府省庁総勢938人）

【見直し案】

